

# とくに生きる

詳細は8ページをご覧ください

## 高齢者疑似体験サポーター養成講座 開催

▶9月10日(火) 午後1時~4時

▶つどいの家 2階 社会適応訓練室

### 視界ゴーグル

視界がぼやけてかすんだり、黄色っぽくなったり、視野が狭くなる体験

eye

### 耳栓

高音域が聞こえにくくなる体験

ear

### 背曲げ用エプロン

前傾姿勢を作り出し、高齢者と同様の目線と制限された動きを体験

back

### ひじ・ひざサポーター

関節の固まりのため、曲げ伸ばしが自由にできなくなり運動能力の低下を体験

elbow & knee

### 手袋

指先の感覚や指関節の動きが悪くなり、小さなものがつかみにくくなる体験

hand

### 重りバンド

動作や反応が遅くなる体験

wrist & ankle

### 杖

すり足などで歩きにくくお年寄りにとって支えとなる杖の重要性を理解

walking stick

- 会長就任・退任のあいさつ..... P 2
- 幸田町社会福祉協議会組織図..... P 3
- 令和元年度役員会等開催報告
- 平成30年度事業報告および決算 ..... P 4・5
- 地域包括支援センターだより..... P 6・7
- ボランティアだより..... P 8
- お知らせ..... P 9
- 幸田町社会福祉協議会職員の募集..... P 10

令和元年

7月号

No. 97

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

この広報誌は、皆さんからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。



## 会長就任のごあいさつ

幸田町社会福祉協議会 会長 神尾 義貴



暑い日が続いておりますが、皆さんにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私は、6月21日付けをもちまして、幸田町社会福祉協議会会長に就任いたしました。早速、幸田町社会福祉協議会事業計画に目を通すと、福祉に関する多種多様な事業が掲載されていました。「福祉」とはすべての人が楽しく生きがいを持ち、しあわせな生活を送ることができるよう支え合うことである。という定義からすればこのように事業が多いのも当然です。しかし、こうした多くの事業を展開していても、健常者には見えにくいものだと思います。私もその一人でした。

ある日、突然右膝が痛くなりました。一番つらかったのは、階段の上り下りです。そんな時、名古屋への出張がありました。しかし、駅にはエスカレーターが設置されており、それを利用して、無事仕事を済ませることができました。この時ほど、エスカレーターのありがたさが身に染みだたことはありませんでした。

人間は、その人の立場になってみないと実際の苦しみや、ありがたさは分からないものだと思います。また、人は助け、助けられながら生きていくものです。だからこそ「自助」「互助」「共助」「公助」の福祉事業が不可欠なものです。

就任にあたり、困っている人の話を聞き、その人の側に立って、公正に福祉事業を実施してまいりたいと思っております。職員共々頑張る所存ですので、皆さん何卒よろしくお願いいたします。

## 会長退任のごあいさつ

幸田町社会福祉協議会 前会長 谷川 章義



盛夏の折、皆さん方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は、6月20日をもちまして、任期満了により幸田町社会福祉協議会会長を退任いたしました。2期4年間、皆さんにはご支援と助言を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

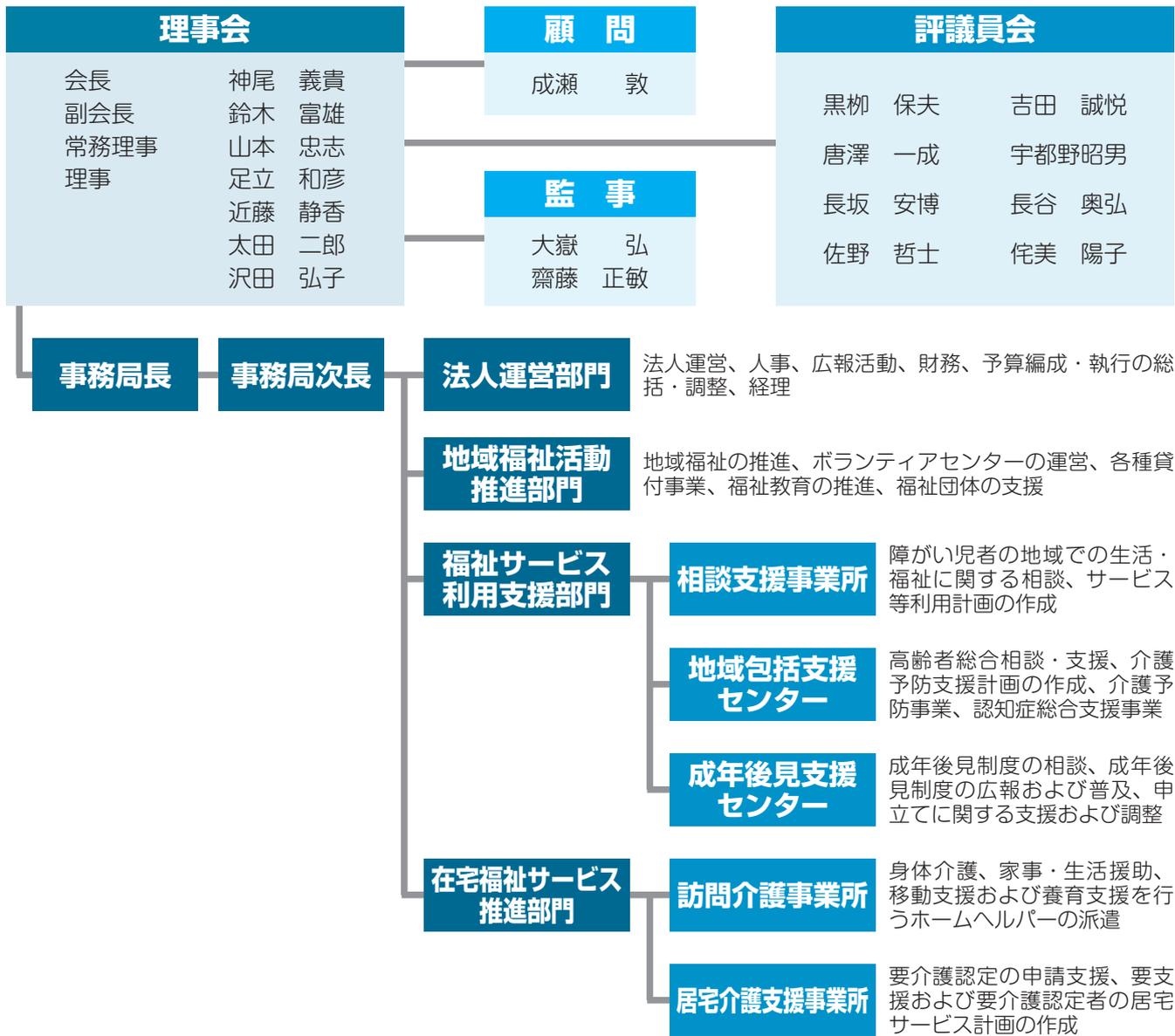
この4年間、「支え合い ともに生きる まちづくり」を基本理念とした「幸田町地域福祉活動計画」に沿って、職員と共に取り組んでまいりました。さまざまな場面が思い出されます。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指して、「幸田町成年後見支援センター」を立ち上げ、シンポジウムを開催しました。参加者のセンターへの期待感が伝わってきました。町内の各学校で、車イス、手話、点字、高齢者疑似体験……等々、子供たちに体験してもらおう「福祉実践教室」を開講しました。これから大人になっていく子供たちに、福祉の心が育ってほしい。そう願っております。地域包括支援センター事業で、「脳の健康教室」や「からだメンテナンス教室」、「げんきかい」等々介護予防をねらいとした事業を実施しました。毎年各区の敬老会へおじゃました時に紹介させていただくなど、印象に残っています。

私共が福祉事業を進めるにあたり、区長、民生児童委員、保護司、ボランティア団体や福祉関係機関など、さまざまな人にお骨折りをいただきました。深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、幸田町社会福祉協議会の更なる発展と、皆さんのご活躍ご健勝をお祈りいたします。

# 幸田町社会福祉協議会組織図



## 令和元年度 役員会等開催報告

### 理事会

第1回／6月5日	議事事項	平成30年度事業報告、平成30年度資金収支決算、令和元年度定時評議員会の招集
第2回／6月21日	議事事項	会長および副会長の選定、顧問の委嘱

### 定時評議員会

6月20日	議事事項	神尾義貴を理事に選任すること、鈴木富雄を理事に選任すること、足立和彦を理事に選任すること、近藤静香を理事に選任すること、太田二郎を理事に選任すること、沢田弘子を理事に選任すること、山本忠志を理事に選任すること、大嶽弘を監事に選任すること、齋藤正敏を監事に選任すること、平成30年度事業報告、平成30年度資金収支決算
-------	------	---

### 監査会

5月23日	監査事項	事業報告、計算関係書類および財産目録
-------	------	--------------------

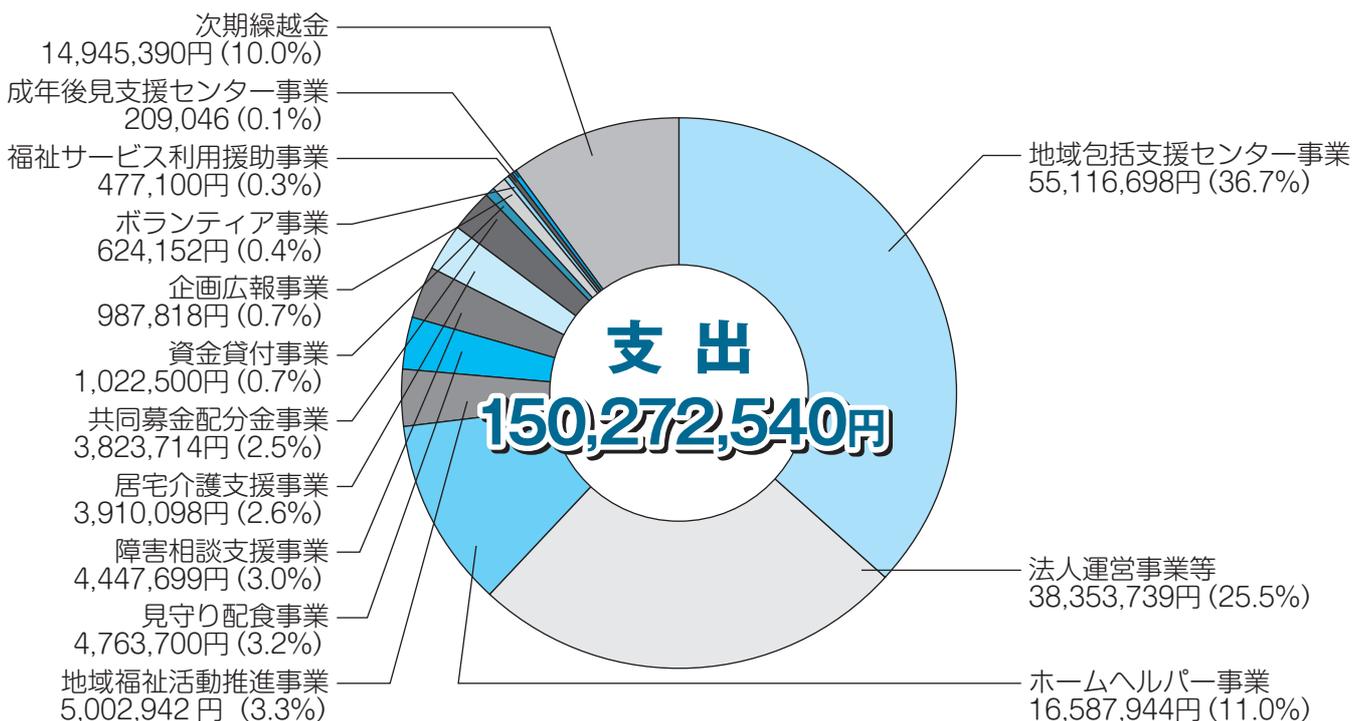
# および 決算

- エ ふくし座談会6会場開催
- オ 介護予防ケアマネジメント業務3,036件
- カ 認知症施策の推進  
認知症介護家族交流会12回開催、40人参加  
認知症カフェ3会場21回開催、68人参加  
認知症初期集中支援チーム訪問・会議13回開催
- キ 一般介護予防事業  
介護・健康出前講座24回開催、449人参加  
介護予防教室 3教室84回開催、942人参加  
げんきかい66回開催、1,316人参加  
いきいき元気サポーターフォローアップ研修2回開催、80人参加  
いきいき元気サポーター養成講座、44人参加  
介護予防ボランティア研修会、43人参加
- (2) 権利擁護への取り組み
  - ア 日常生活自立支援事業延べ13件
  - イ 司法書士による法律困りごと相談26件
  - ウ 成年後見支援センターの受託  
相談および手続き38件、広報・啓発活動3件、親族後見等への支援2件、法人後見の受任への準備体制5件、関係機関との連絡調整7件、運営委員会等の開催3件
- (3) 各種貸付事業の実施
  - ア 相談26件

- イ 貸付  
生活福祉資金18件、たすけあい資金25件
- (4) 障がいのある人に対する相談支援
  - ア 障害者相談支援事業の受託  
総合相談311件、地域総合支援協議会専門部会の開催4回、ピアカウンセリングの開催3回
  - イ 相談支援事業所の運営  
サービス等利用計画等作成50件、モニタリングの実施88回

## 4 在宅福祉サービス部門

- (1) 見守り事業の実施
  - ア 見守り配食事業  
延べ利用者数1,466人、配食数15,879食、委託事業者数3事業所
  - イ 友愛訪問活動  
友愛訪問員数7人、訪問対象者数28人、訪問回数170回
- (2) 居宅介護支援事業所の運営  
ケアプラン作成473件
- (3) 訪問介護事業所の運営  
ホームヘルパー派遣  
介護保険サービス2,959回、障害福祉サービス3,450回、移動支援347回、養育支援9回



I 役員会等の開催状況

理事会 4 回、評議員会 4 回、監査会 1 回

II 平成30年度の主な取り組み

1 法人運営部門

- (1) 経営基盤の確保  
自主財源や公費財源を安定的に確保、財務諸表の公表
- (2) 職員の資質向上  
外部研修106回、内部研修7回

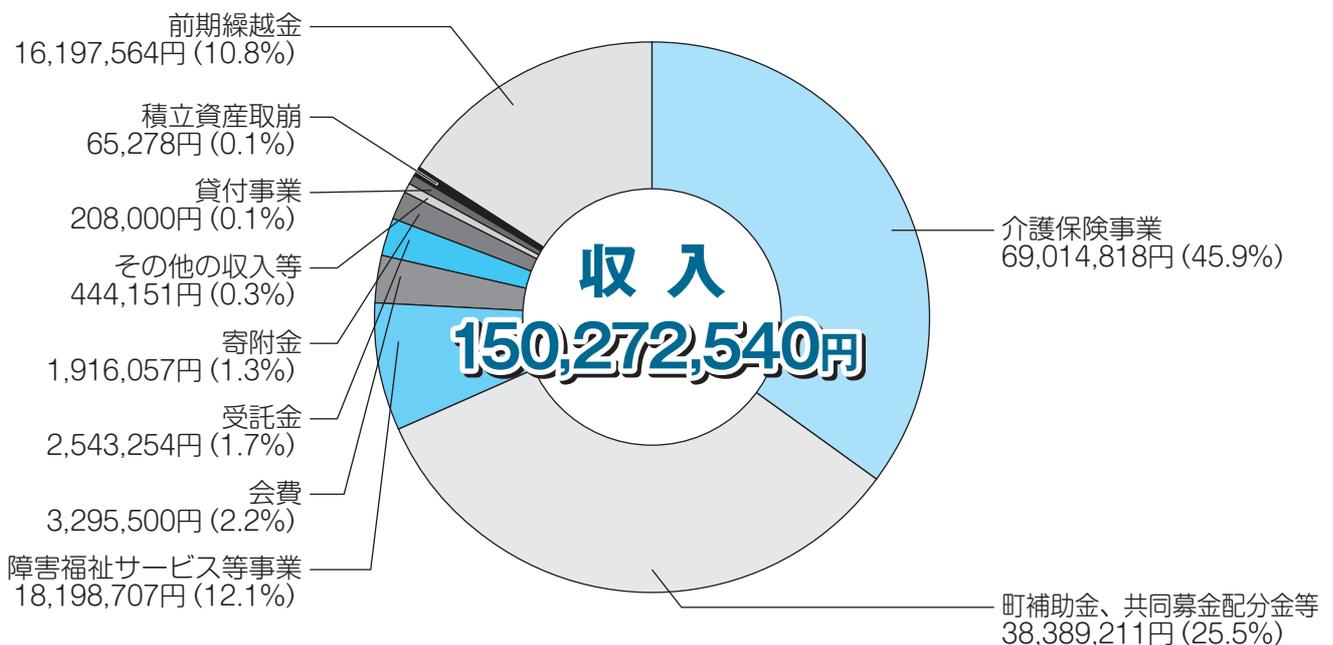
2 地域福祉活動推進部門

- (1) 福祉教育の推進
  - ア 社会福祉協力校の委嘱10校
  - イ 福祉実践教室9校12回開催
  - ウ 青少年ボランティア福祉体験学習212人参加
- (2) 地域でのサロンやサークル活動への支援  
28団体578回開催
- (3) ボランティアセンターの機能充実
  - ア ボランティア相談30回
  - イ 登録数 団体40団体、個人6人
- (4) 災害に対する備え  
災害時ボランティア支援本部の設置訓練を実施
- (5) 福祉車両・福祉用具の貸出

- ア 福祉車両141回、レクリエーション用具134回、災害用物品101回、福祉用具等149回
- イ 福祉用具リサイクル 譲受0件 譲渡0件
- (6) 福祉実践活動者への費用助成  
高齢者スポーツ指導者および障がい者自立援助協力者の養成費用や資源回収事業報奨金の助成
- (7) 福祉6団体事務局の運営、活動支援
  - ア 各種福祉団体の事務局の運営
  - イ 福祉団体の自主運営化に向けた情報提供や活動内容の提案
- (8) 広報活動
  - ア 社協広報誌「ともに生きる」を年4回発刊
  - イ ホームページでタイムリーな情報の発信
- (9) 赤い羽根共同募金配分金の有効活用  
福祉団体、サロン、保育所等へ活動費の助成
- (10) 総合事業への取り組み  
生活支援コーディネーターを配置し、サービス検討会や地域での研修会等を実施

3 福祉サービス利用支援部門

- (1) 地域包括支援センターの受託
  - ア 総合相談支援業務1,917件
  - イ 権利擁護業務145件
  - ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務  
ケアマネ部会（幸介連支援）6回開催、ケアマネジャー支援195件、地域ケア会議6回開催



# 地域包括支援センターだより

## シニア元気アップ教室を開催します

健康について気になりだしたあなた、この機会に体力づくりや、健康に関する知識を学び生活に活かしませんか！！

回数	と き		内 容
	第2期	第3期	
1回目	9月4日	9月11日	体力チェック・生活チェック
2回目	9月18日	9月25日	転倒予防のための体操（お達者体操）
3回目	10月2日	10月9日	栄養不足にならない食事のポイント
4回目	10月16日	10月23日	肩こり・腰痛・ひざ痛のための予防体操
5回目	10月30日	11月6日	健康への道はお口の健康から（口腔ケア）
6回目	11月13日	11月20日	防ごう筋力低下！椅子のできる筋力体操
7回目	11月27日	12月4日	手軽にできるバランス料理（調理実習）
8回目	12月11日	12月18日	転ばないための歩き方のコツ
9回目	12月25日	1月8日	かむ・飲み込みのメカニズム
10回目	1月15日	1月22日	手とからだをつかった頭の体操
11回目	1月29日	2月5日	体力チェック・生活チェック
12回目	2月12日	2月19日	今後の目標（グループワーク）・修了式

※全日程、水曜日の午前10時～正午

**と ころ** 高齢者生きがいセンター（シルバー人材センター） ただし、7回目のみ幸田町保健センター

**対 象** 町内在住の65歳以上の人で主治医より運動制限を受けておらず、12回継続して参加できる人（介護認定者対象外）

**定 員** 15人 \*先着順

**講 師** 健康運動指導士、管理栄養士、歯科衛生士他

**参加費** 300円+食材費（実費分）

**申込み** 第2期または第3期を選び、7月16日（火）～8月2日（金）に地域包括支援センター（電話62-7331・FAX 62-7254）へお申し込みください。（土日祝日は除く）

高齢者や介護に関する悩みや疑問など、なんでもお気軽にお問い合わせください  
幸田町地域包括支援センター 電話62-7331

# いきいき元気サポーター養成講座を開催します

健康づくりをしながら、地域の高齢者を支えるボランティア活動をしませんか！！

と き	内 容
7月26日(金)	① 「げんきかいて何？」 ② いきいき元気サポーターの活動状況 ③ 講話「介護予防の基礎知識」
8月2日(金)	① 体力測定 ② 講話「運動の重要性と効果」 ③ 運動の実技
8月9日(金)	① 介護予防のためのレクリエーションや脳トレ ② グループワーク「どんなげんきかいに参加したいか」

**と ころ** 幸田町保健センター

**対 象** 20歳以上の町民で月1回のげんきかいに参加できる人

**そのほか** 運動のできる服装で、上靴・水分補給用の飲み物を持参ください。

**申 込 み** 7月19日(金)までに地域包括支援センター（電話62-7331・FAX62-7254）にお申し込みください。

## おれんじカフェを訪ねてきました!①

### 地域包括支援センターレポート

今年度から認知症カフェの呼び名が《おれんじカフェ》に変わりました。現在は町内3か所の介護保険の事業所で開催しています。認知症の人、そのご家族、地域にお住まいの人、どなたでもご参加できるカフェとなっています。介護などに関する相談や工作レク、講話など各カフェによって特色には違いはありますが、参加した皆さんでお茶を飲み、お菓子を食べながら交流や意見交換などを行っています。

実際におれんじカフェを訪ね、どのようなことをやっているのか、お話を伺いました。第1回目はグループホームおり姫で開催されている《喫茶ふでかき》です。



#### 管理者の杉田清さんに伺いました

先月のおれんじカフェでは、工作レクとして、クリアファイルを使った扇子づくりに挑戦しました。皆さん見事に完成しました。毎回レク等の内容を考えていくのは、ちょっと大変ですが、訪ねて来られる皆さんの笑顔を思い出しながら、職員・スタッフとその回ごとのメニュー作りに取り組んでいます。よろしかったら皆さんもご参加ください。

#### 喫茶ふでかき（幸田町大字大草字山添15）

**と き** 偶数月の第4水曜日 午後2時～4時

**参加費** 100円（お茶菓子代ほか）

**問合せ** グループホームおり姫 電話56-3500



# ボランティアだより

## 高齢者疑似体験サポーター 養成講座を開催します

小学生・中学生の思いやりの心を育てるサポーター養成講座です。

加齢による身体機能の変化を学び、体験します。

高齢者疑似体験の技能を習得し、主に小中学校での福祉教育をサポートするスタッフを養成します。

**と き** 9月10日(火) 午後1時～4時  
**と ころ** つどいの家 2階 社会適応訓練室  
**内 容** 高齢者疑似体験の講義・実技演習  
**対 象** 町内在住・在勤の人  
**定 員** 15人 \*先着順  
**参 加 費** 無料  
**講 師** 高齢者疑似体験グループあじさい  
**そのほか** 筆記用具・動きやすい服装  
**申 込 み** 9月3日(火)までに幸田町社会福祉協議会  
(電話62-7171・FAX62-7254)へお申し込みください。



活動の様子

## ボランティア団体紹介

### レインボー

いきいきサロン、福祉施設において回想法脳トレ、体操などで認知症予防の活動を行っています。

あなたも気持ち(心)を元気にする回想法をご一緒にやってみませんか!!



### あいち健康づくりリーダー幸田

幸田町内で健康体操、脳トレ、レクなどの先導サポーターとして活動。運営者への健康体操の指導なども行っています。

健康づくりの輪をみんなで広げませんか!!



問合せ先 幸田町ボランティアセンター 電話62-7171

## お知らせ

幸田町聴覚障害者連絡協議会 主催

夏休み親子手話体験教室

# 手話を体験してみませんか

耳が聞こえないということは外から見て分かりません。まわりの人とコミュニケーションがスムーズにできないなど、困る時もあります。耳の聞こえない人の障がいは「見えない障がい」と言われています。

少しの時間ですが、手話のあいさつや、聞こえない人と会話してみませんか？身振りなど、簡単に伝える方法を学びます。

- と き** 8月7日(水) 午前10時～正午  
**と ころ** つどいの家 2階 社会適応訓練室  
**対 象** 小学1年生～6年生で親子で体験できる人  
**定 員** 町内在住の親子10組(20人) \*先着順  
**参加費** 無料  
**申込み** 幸田町聴覚障害者連絡協議会  
金澤 美幸 電話63-6581



手話



ありがとう



ご苦労さま

## 日本赤十字社

### 活動資金のご協力に お礼を申し上げます

日頃より赤十字活動へのご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

5月を中心に行われた「赤十字運動月間」では、全国で様々な活動が展開され、町内においても、町民の皆さんから多大な活動資金を賜ることができました。

ご協力いただいた活動資金は、近い将来この地域において災害が発生した場合に備え、救護に関する資材や訓練等に活用いたします。

幸田町では火事や水害で被害にあわれた方に毛布や日用品の配布を行います。

皆さんからのご協力に対し、心から厚くお礼を申し上げますとともに、これからも力強いご支援をいただけますようお願い申し上げます。

## ご寄付ありがとうございました

H31.3.1-R1.6.10

●現金	(順不同・敬称略)
(株)苔善	1,000,000円
(株)苔善マロー観音	222,517円
ピアゴ幸田店	54,157円
幸田町少林寺拳法協会	10,000円
幸田町商工会女性部	7,640円
アトリエジャスト近藤二吉	12,360円
(株)石原組従業員一同	3,600円
匿名	2,282円



# 令和元年10月1日採用 幸田町社会福祉協議会職員の募集

## 1 職種・採用予定人員・受験資格

職種	採用人員	学歴	受験資格
保健師	若干人	大学・短大	・昭和48年4月2日以降に生まれた人で、左記学歴を卒業または令和元年9月30日までに卒業見込みの人 ※保健師資格を令和元年9月30日までに取得または取得見込みの人

## 2 試験日程・会場・試験内容

試験日	会場	試験内容
8月24日(土)	幸田町福祉サービスセンター	基礎能力検査、パーソナリティ検査、面接

## 3 試験申込み・受付期間

区分	受付期間	受付場所	備考
窓口受付	7月1日(月) ～7月31日(水)	幸田町社会福祉協議会 (幸田町福祉サービスセンター内) 〒444-0113 幸田町大字菱池字錦田82番地4	受付時間は、午前8時30分～ 午後5時15分 (土日祝日は休み)
郵便受付			受付期間末日の消印まで有効 (消印なきものは無効)

## 4 そのほか

- 募集要項をよくご確認の上、お申し込みください。なお、募集要項、受験申込書などは、幸田町社会福祉協議会でお渡しするほか、幸田町社会福祉協議会ホームページ (<http://kotashakyo.jp/>) からダウンロードできます。
- 提出書類(履歴書など)は、理由を問わず返却しません。

## 5 問合せ先

幸田町社会福祉協議会 電話 (0564) 62-7171、FAX (0564) 62-7254



編集・発行

### 社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4  
 電話 (0564) 62-7171 FAX (0564) 62-7254  
 居宅介護支援事業所 電話 (0564) 64-1069  
 訪問介護事業所 電話 (0564) 83-7273  
 地域包括支援センター 電話 (0564) 62-7331  
 メール info@kotashakyo.jp ホームページ <http://kotashakyo.jp/>



この広報誌は地球にやさしい再生紙を使用しています。